

長与町新図書館基本構想・基本計画(案)に対するパブリックコメント集計・回答
並び順：長与町新図書館基本構想・基本計画(案)ページ順

No.	ページ	分類	意見内容	回答(事務局案)
1	12 40	郷土資料	図書館のよさ、特色を活かす資料を収集、発信していただきたい。”記録された情報”が図書館資料の中心と考えれば、寺屋敷跡五輪塔群がその第一、現存する町内最古の文字が残り、当時の長与文化の高さをよく示している。中世長与は輝いていた。	今後も資料収集方針の一般方針に従い、郷土資料を収集、保存、発信してまいります。
2	12 40	郷土資料	さらに考えていただきたいのは、みかん産業の扱い。郷土史の内容も少し寂しい。是非資料を収集し、歴史、栽培と出荷工夫など町内第一の産業に光を当てていただきたい。	今後も資料収集方針の一般方針に従い、郷土資料を収集、保存、発信してまいります。
3	29	コンセプト (目標)	29ページの「未来をひらく」には、16ページの「未来をひらく」の中に書かれている「地域資料、行政資料等」について記載が無いように思う。	ご指摘を基に、以下のように追記いたします。 長与町の未来をひらいていくためには、過去を知り、今を学ぶことが大切です。そのために、町の歴史や継承されてきた文化等の郷土資料、まちづくりに係る行政資料・情報等の提供・発信は欠かせないことであり、その収集・保存に積極的に取り組むことが必要です。
4	29	コンセプト (目標)	新しい図書館像を創案しておられることと思いますが「出会う・つながる・学びあう」の3語が同類語。キーワードとしてはやや狭いのでは。図書館本来の多義的機能、町民の豊かで多様な願いに応えているか。	新図書館の基本理念のキーワードである【出会う】には『地域の情報拠点として、「人と本」「人と情報」「人と人」の出会いを支える図書館』、【つながる】には『世代を超えた居場所づくりと交流により、新しいつながりを生み出す図書館』、【学びあう】には『「知りたい」「分かってほしい」「解決したい」といった知的好奇心を刺激し、創造と学びを支える図書館』という願いを込めて図書館像を描いており、町民の豊かで多様な願いに応えることができる図書館を目指しております。
5	30	「出会う」	「出会う」には、(たまたま大切なものに)出くわすという意味もあるが、一義的には人と人が(たまたま)出会うという意味。それが最初のキーワードとしてよいのか。住民がワクワクして本や求めたい情報を探す。そしてさがし当てる。その意図的、能動的な姿勢こそ図書館のよさ。「出会う」でよいのでしょうか。	「図書館に来ると、本や仲間との出会いがあり、人と人のつながりが生まれ、学びが深まる。」そのような図書館を町民みなさんと一緒に創っていきたくらいと願い、最初のキーワードにしております。
6	30 35	「出会う」 「学びあう」	「必要な資料や情報を提供する情報拠点」「創造と課題解決に向けた資料や情報の提供」それぞれ各項の最初の見出し。この2つは同じ意味ではありませんか。このことも、キーワードが類語の集まりであることを如実に表している。	「出会う」「つながる」「学びあう」をキーワードとした取組は、それぞれ独立して、あるいは関わり合いながら「未来をひらくみんなの図書館」を創っていくものとしており、それぞれのキーワードにおいて取組を記載しております。従いまして、似たような取組でも重複して掲載している場合があります。
7	31	「出会う」	児童生徒へのサービスには、「長与町の子どもたちに読んでほしい200冊の本」について記載があるが、乳幼児とその保護者へのサービスには「長与町の乳幼児に読み聞かせたい本100冊」を記載しなくてよいのか。	ご指摘を基に、以下のように追記いたします。 ◆ 発達段階を考慮したおはなし会の実施や「長与町の乳幼児に読み聞かせたい本100冊」等のおすすめリストの提供
8	31	「出会う」	「赤ちゃん向け絵本」とあるが、絵本は赤ちゃん向けと限定するものではなく、大人でも楽しめるものだと思う。	ご指摘を基に、以下のように修正いたします。 ◆ 絵本、布絵本、大型絵本、しかけ絵本、紙芝居等を含む多様で魅力的な資料の提供

長与町新図書館基本構想・基本計画(案)に対するパブリックコメント集計・回答
並び順：長与町新図書館基本構想・基本計画(案)ページ順

No.	ページ	分類	意見内容	回答(事務局案)
9	35	「つながる」	「交流機能の場の創出」の具体的取り組みについては、「世代を超えた交流の場を創出」とされているのであれば、内容が一部世代に限られているように感じる。	ご指摘を基に、以下の内容に追記・修正いたします。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 長与の未来を考える中高生の集いや大学生の集い等の開催 ◆ 子育てに関わる情報を交換する場や必要な資料の提供 ◆ シニア世代が、様々な年代に経験や技能を披露したり伝えたりする場の提供 ◆ 自主的活動や各種団体の活動(発表会・講演会等)が気軽にできる場の提供 ◆ 各世代と楽しむことができる囲碁、将棋、ボードゲーム等の提供
10	35	「学びあう」	「○子育て、教育、健康・医療、法律等に関する資料及び情報を整備、提供します。」との記載があるが、具体的取り組みの中ではあまり触れられていないように感じる。	ご指摘を基に、以下の内容を追記いたします。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 行政と連携した子育て、教育、健康等に係る講座や相談会の開催 ◆ 健康等に関わる資料や健康測定器を配置した健康コーナーの設置
11	36	「学びあう」	「③レファレンスサービス、レフェラルサービスの充実」の中の具体的取組については、今後のICTやAIの発展を考えると、利用者が機器を活用できるようにするために支援をする取組を行う必要があるのではないか。	ご指摘を基に、以下の内容を追記いたします。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 相談者自身が情報を取得したり、調査・研究の仕方を学んだり、情報活用能力を身につけたりすることができる講座等の開催
12	37	3. 図書・貸出	「図書・貸出」というタイトルは、範囲が狭い気がする。	ご指摘を基に、記載内容に沿ったタイトルとするため、タイトルを「蔵書管理」に変更し、「(1)開架冊数、蔵書構成、蔵書管理」から「蔵書管理」を削除いたします。
13	38	開架冊数、蔵書構成、蔵書管理	蔵書については、資料収集物の管理が必要だと思われるが、記載内容に資料収集物が示されていない。	ご指摘を基に、以下の内容を追記いたします。 <p>資料にあっては、図書、雑誌、新聞、視聴覚資料(CD・DVD等)、電子資料(CD-ROM・電子書籍等ネットワークを介して得られる情報コンテンツ)、ファイル資料、パンフレット、町の独自資料、その他図書以外の資料等、町民のニーズに対応できるよう多様な資料を対象とします。</p>
14	46	ユニバーサルデザインに基づく環境の提供	【館内環境】の中で館内の照明についてどのようにするか触れなくてよいのか。	ご指摘を基に、以下の内容を追記いたします。 <p>○ 均斉度が高く、目が疲れない光環境とする。</p>
15	48	フロアコンセプト	児童開架スペースの床面には、「滑りにくく、音が響かない床面」を記載しなくてよいのか。	「滑りにくく、音が響かない床面」につきましては、館内すべてのスペースにおいて取り入れるべきものだと考えます。施設整備の際には、利用者の方の安全に配慮したものとなるよう計画してまいります。
16	54	職員体制・開館時間	人数は十分な確保が難しい、だから機械に頼る、だけで終わるのでなく、少ない人数でも広範囲の課題をこなす最大限の効果をねらう方策を示す必要があると思います。	ご指摘を基に、以下の内容を追記いたします。 <p>その上で、計画にある業務を遂行していくためには職員の質を高める研修等の制度、年度ごとの目標をPDC Aサイクルによって進めていく仕組み作りが求められます。</p>
17		住民参加	ボランティアの記載はあるものの運営、選書などに住民の意思を反映する内容がない。より図書館を町民に活用させるため、要望や提案を汲み取る組織をつくっていただきたい。	図書館の運営に関し、意見を述べる「長与町図書館協議会」という組織があり、住民や学校教諭等で構成されています。この協議会で出された意見も参考にしながら、今後も図書館運営を行ってまいります。また、選書については資料収集方針に沿って、図書館職員(司書)の合議によって行い館長が決定しております。個別の図書リクエストについては、購入または他館からの貸出を含め今後も対応してまいります。